



青山クワリエ

2006.3.9

発行:青山学院女子短期大学 〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-8111  
<http://www.luce.aoyama.ac.jp>  
 AOYAMA GAKUIN WOMEN'S JUNIOR COLLEGE

136  
No

C  
O  
N  
T  
E  
N  
T  
S

Front-Page Message

巻頭言「Bon Voyage!」鈴木律子…………… 1

Topics

卒業特集「卒業するいま」…………… 2・3

卒業特集「卒業生へ贈る言葉」…………… 4・5

Campus Report

2005年度特別奨学金奨学生・第8回書道コンテストほか…………… 6

Voices&Echoes

クワリエ歌壇「教え子たちの短歌」高野公彦…………… 7

Bulletin Board

卒業後の案内ほか…………… 8

卒業特集号

巻頭言

Bon Voyage!

一般教育科目教授(フランス語) 鈴木 律子



ご卒業おめでとうございます。

卒業は、英語では"commencement"とも言われ、“始まり”を意味するフランス語からの借用語であることは、よく知られています。これからの人生への始まり、社会という大海原への出帆を前にしての皆様は今、最高に輝いています。ただ、40年先のことは勿論のこと、10年先のことにさえ考えは及ばないでしょう。皆様の年頃には、私もそうでした。今は皺や白髪、そして物忘れさえも自然の摂理として受け入れなければならない時が訪れることを知った人間として、皆様のこれからの長い人生が、順風に守られた楽しく、つつがない航海となることをただ祈るばかりです。

男女雇用機会均等法が成立してから、既に多くの時間が流れたとはいえ、実質的な男女格差が是正されたわけでもなく、社会では女性が逆風に逢うことも多いはずで、女性であるがゆえの障壁も高く、立派な目標を立てても、

それを実現するのは並大抵なことではないでしょう。そんな場合にこそ、本学での学びから得た叡智と柔軟な思考が大切になってくるのだと思います。今後の皆様の活躍次第では、いつまでも男性優位の社会が続くとも言えないでしょう。

当節は、役に立つことばかりが尊ばれる、効率主義万能の社会です。そこで、私は時代錯誤も憚らずに、皆様に次の言葉を贈りたいと思います。

生きるためにはどうしても必要な仕事のほかに、自分だけに許される上質な時間を持つことの大切さを知ることです。

例えば、生涯教育にも携わった経験から、余暇をゆとりを持って有効に利用する人々の満足げな顔を思い出します。そこには、貪欲に何でもやってやろうと思う、プラス思考の精神に裏打ちされた澆刺として、果敢な挑戦の意思さえも感じられます。

また、何かのお稽古でも、音楽や美術の鑑賞でも、さまざまな趣味を生かせば、人生をさらに豊かなものにすることもできるでしょう。それは年を経るに応じて情感を深め、一輪の白梅の開花が幸せをくれると感じられる、みずみずしい感性を養うことにも通じるようにさえ思えるのです。それこそはまさに、時間との高尚な遊戯と言えるかもしれません。

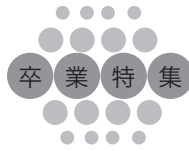
最後に、もう一言。フランス・モラリストのモンテーニュは、『随想録』の「三つの交わり」の中で、教養もあり、能力のある紳士との交わり、美しくてまじめな女性との交わりのほかに、古今の良書との交わりを挙げています。良き異性も勿論のことですが、良き本との出会いこそは、人生を良き方向に導いてくれるに違いありません。

皆様の人生が大きな幸せに恵まれますよう、心より祈っています。



2年前の入学式

蜷梅の香る午後



# 卒業するいま



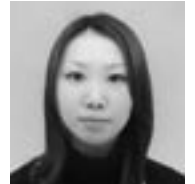
## ● 国文学科で学んだこと 国文2年 牧野 早苗

青短に入ってから2年間は、本当にあっという間でした。「早く大人になって社会に出たい」「大好きな古典をより深く学びたい」高校時代このように考えていた私は、文学で名高い青短を志望しました。しかし、今思うと、青短は最良の研究の場であると同時に、私にとっては「素敵なお出逢いの場」です。それは、何かと相談のっていただきました教授をはじめ、講師の先生方、そして共に歩んできた友人達。このような一生の宝物を私はたくさんたくさん得ることが出来ました。もし他の大学に入っていたとしたら、私の人生は全く別の道をたどっていたことでしょう。4月から製薬会社へ就職します。卒業を待つ今、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。



## ● 児童教育学科で学んだこと 児童教育2年 飯泉 友理

私の短大生活は毎日忙しかったけれど、充実していて多くのことを学び得た2年間だったと思います。課外活動に参加したこと、授業を通して先生方の様々な考え方に触れることで、知識を得ると同時にカルチャーショックもたくさん受けました。それがよい刺激となって、自ら問題意識を持って考えることの大切さ、今まで当たり前だと思っていたことを違った角度から考え直してみるものの大切さを知ることができました。これは私にとって大きな変化でした。入学してから今まで、常に刺激を受けながら学べる環境に恵まれたことを感謝しています。青山学院女子短期大学での学びを人生の糧に、これからも充実した日々を送っていかうと思います。



## ● 英文学科で学んだこと 英文2年 広岡 琴葉

若者の文化発信の地と言われる渋谷に位置する青短で、日々教養のシャワーを浴び続けること早2年。その間、学び得たものは計り知れません。「夏目漱石の英国体験」というゼミでは、留学先の英国で彼が感じた異文化の異質性や違和感などを追体験し、多くの文献を読む中で人間漱石の本質に触れることが出来ました。2年間の学生生活はとても短いものでしたが、良い友達にも恵まれ、楽しい毎日でした。限られた時間の中で、自分なりに精一杯与えられた課題に取り組めたことを誇りに思います。卒業後は音楽系の仕事に就く傍ら、ピアノ教師を目指します。青山学院女子短期大学で学んだことを糧に、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



## ● 教養学科で学んだこと 教養2年 三上 真梨子

私はこの2年間、学校生活も遊びも全力で楽しみました。授業では、自分の知らないことの多さを実感すると同時に、新しいことを学ぶ楽しさを知りました。興味のある授業をたくさん履修したので忙しい毎日でしたが、そこから学んだことは何物にも代えがたい貴重な経験となっています。人間関係においても、この学校に来て出会えて良かったと思える友人ができました。進む道はそれぞれ違って、いつまでも何でも話せる関係でいられると思います。これから私は大学へ進学し、さらに多くのことを学び、多くの人達と出会います。その分今よりも悩むこともあると思いますが、それも自分の成長の糧になると信じ、乗り越えていきたいです。



## ● 家政学科で学んだこと 家政2年 宮嶋 あや

「広い視野を持った、中身のある人間になりたい」と短大では、さまざまなことに挑戦しました。教職を履修し、教職で介護体験に行ったのをきっかけにヘルパーの免許を取得したり、清里の酪農体験に参加したり、以前とは異なる行動的な自分になれたのが、短大で得た一番の収穫です。また幅広くいろいろな分野の学問を学ぶことができ、新しい知識をえることができたのももちろんのこと、たくさんの先生方との出会い、生き方や考えに触れることも、私を成長させるきっかけになりました。今まで、勉強とは詰め込み型のもので強いられてやるものだと思っていましたが、短大に入り授業を受け、それに対して自分の考えを端的にわかりやすく伝える、そういった「考える」勉強に魅力を感じ、初めて自ら学ぶ楽しさを感じることができました。そしてさらに学びを深めるために、卒業後は専攻科に進学することに決めました。かけがえのない時を共有できた友達、先生との出会い、そして思い出を大切に、今後も自分を高められるよう努力していきたいです。



## ● 芸術学科で学んだこと 芸術2年 浅見 明子

芸術や美という価値を学び、享受した2年間の私の学生生活は、素晴らしい環境と先生方、そして友人達に恵まれ、大変有意義なものとなりました。芸術学科で私は、芸術を学ぶことを通して、人間として精神を豊かにすることや、表面的なものにとらわれることのない視点を持つことの大切さ等を学ぶことが出来ました。卒業研究の美学の論文では、「象徴」をキーワードに文化や芸術に多方面からアプローチすることで、歴史に於ける象徴の役割や、芸術と社会の関連性を考察しました。本学で学生生活を送れたことは、私の一生の誇りです。今後は、本学の卒業生であることにプライドを持ち、芸術を学んだ一人の社会人として、社会に貢献してゆきたいです。



### \*Our Memories\*



シオン寮入寮式



始業礼拝



グリーンパーティ

本科卒業生、専攻科修了生のみなさんは、学生時代をどのように過ごし、  
 本学を巣立っていかようとしているのでしょうか。  
 クーリエでは、卒業する学生12名に、本学で学んだこと、  
 本学を卒業するいまの思いを書いてもらいました。



● バレーボール部で学んだこと 家政2年 和泉 文菜

思い返せば2年前、学生生活をただ受け身で終ら  
 せたくはない、忙しくても充実した2年間を送りたい  
 との思いで入部したバレーボール部。そこでは同じ  
 志を抱いて戦える仲間にも出会い、数々の貴重な  
 経験を通し沢山のものを得る事が出来ました。中  
 でもリーグ昇格や最後の大会での優勝はキャプテン  
 である私に、改めてある事を実感させてくれました。  
 それは勝つために最も大切な事は個人個人の  
 高い技術力だけではなく、日頃の練習でのコミュニ  
 ケーションを通して培った、お互いを信じ合えるチ  
 ームワークだということです。このような素晴らしい  
 経験が出来たのも、伝統ある青短バレーボール部  
 の先輩やコーチ、温かく見守ってくださった先生方  
 のお陰だと心から感謝しています。家政学科で学  
 んだ事、そして部活動で学んだ事を糧にし、社会  
 に貢献していきたいと思えます。2年間、有難うご  
 ざいました。



● 宗教活動委員会で学んだこと 英文2年 山田 楓

この2年間が今までの人生の中で一番内容が濃  
 く、貴重な時間だったと今振り返ってみるとそう思  
 えてならない。宗教活動委員会の副委員長になっ  
 て以来、4月の始業礼拝や11月のクリスマスツリー  
 点火祭といった大きな行事で責任重大な役を与  
 えて頂き、また日々の礼拝で司会を務めたことを通  
 じて、人前に立つという緊張感から「自信」を得る  
 ことが出来、それと同時に自分の責任がどれだけ重  
 みのあるものかを実感させられた。何事も胸を張  
 って積極的に挑戦することが、いかに自分の人生を  
 価値あるものに作り上げていくか、宗教活動委員  
 会が私にそれを教えてくれたのである。点火祭の舞  
 台上からみた5000人のろうそくの明かりは一生  
 忘れられない。私にチャンスを与えてくれた先生  
 方や友達に感謝したい。そして神様ありがとう。



● 青山祭に参加して 英文2年 村越 純子

私は高校の文化祭で得た「人前で歌うこと」への  
 喜びをぜひ短大でもと思い、2年間文化祭でライブ  
 をしました。そしてライブを作り上げていく上で事  
 務の方や先生、友人とより深く交流することができ  
 、自分が一生懸命であれば必ず相手はそれに応えて  
 くれるということを実感したのです。そして私は編  
 入志望でもあったので自分なりに時間を決め、少  
 ない時間でも集中して勉強したと思います。そのよ  
 うなことから勉強と自分のやりたいことをどちらも  
 犠牲にせず、何事にも尽力する大切さを学びまし  
 た。2年間を振り返り、この期間が私にとって貴重  
 であったことに気付けた今、これから生きていく中  
 で青短生であったことに胸を張れることは間違いな  
 いでしょう。



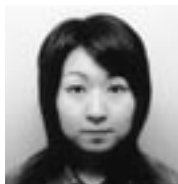
● 宗教活動委員会で学んだこと 児童教育2年 柿崎 有希

私が青短で学んだ2年間は、今までの学生生活の  
 締めくくりとして最高のものでした。自分の好き  
 な勉強をして、ここで学び得た知識を生かし、幼  
 稚園教諭の職業に就けたのも本学で学んだおかげ  
 です。あつという間の充実した2年間でしたが、中  
 でも宗教活動委員としての活動は、思い出深いも  
 のの一つです。宗教活動委員という堅苦しいイメ  
 ージを持たれがちですが、活動内容は楽しいものば  
 かりでした。また、宗教活動センターでの先生方  
 や友人達との語らいは、学内においてほっと息の  
 つける暖かい交流の場でもありました。青短でのた  
 くさんの出会いがかけがえない思い出であり、心  
 の支えであり、この出会いを今後もずっと大切  
 にしていきたいです。お世話になった方達に心から  
 感謝いたします。ありがとうございました。



● 教職課程で学んだこと 国文2年 戸塚 真理子

私は、この大学に入って本当によかったと思  
 います。最もよかったと思う事は、教職を取った事  
 です。大変でしたが、みんなで一緒に乗り越えてき  
 たからこそ絆が深くなり、最高の仲間が出来まし  
 た。介護体験や教育実習などは、一生忘れられ  
 ない素晴らしい経験です。教育実習を終え、私は  
 絶対に教師になりたいと思いました。また、私は  
 青山学院大学の日本文学科に編入しました。私が編  
 入できたのは、熱心にアドバイスをいただいた先  
 生のおかげなので、とても感謝しています。教職  
 と編入の両立は難しいと言われていたけれど、実  
 現できたので、これからも努力をすれば夢は叶  
 うと信じ、いつの日か教壇に立てる日を夢みて、  
 この大学で学んだことを誇りに思いながら、頑  
 張っていきたいです。



● 司書課程で学んだこと 教養2年 渡部 さやか

図書館や本について学んだ授業は、本と人に携  
 わる司書に近づくための非常に有意義な時間  
 でした。専門的なことだけでなく幅広い知識を  
 身に付けることも出来ました。しかし一方で、単  
 位を修得するための課題は山積み、授業は土  
 曜日や夏休みもあり、大変な思いをしたのも  
 事実です。それを乗り切ることが出来たのは  
 志を同じくした友人や先生方のおかげでもあり  
 ました。また私は図書館実習も経験し、いつも  
 とは違った角度から司書という立場を見ること  
 でより司書への理解が深まりました。そして実  
 習を通して知り合った人、得た知識は私にと  
 って今でもとても大切なものとなっています。  
 2年間、決して楽な道のりではありませんでした。  
 しかしだからこそ楽しい学生生活がより充実  
 したものになったのだと思います。卒業後も  
 さまざまな場面において司書課程で学んだこと  
 を活かしていきたいと考えています。



ブライデー

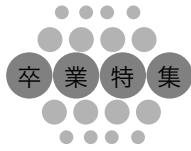


ブライデー



青山祭





## 卒業生へ贈る言葉

本学を卒業・修了するみなさんへのメッセージを寄せていただきました。



### 蛇のように賢く、鳩のように素直に



学長  
前之園 幸一郎

皆さんは『ピノッキオ』をご存知でしょう。予想外の困難に次々と出会い、そのつど困難を克服して、ついに本当の人間の子どもになる操り人形の物語です。その作者C・コッローディは、人生には予測できない「ところが」が突然現れるものだと言っています。皆さんは、これから冷厳な現実が支配する社会のなかに旅立ちます。落ち着いて「蛇のように賢く、鳩のように素直に」（マタイ10: 16）自分の道を切り開いて前進してください。

ご卒業おめでとうございます。

### 他者への想像力を、そして…



児童教育学科教授  
菅沼 真砂子

「人間が自分と同類の者たちのあいだでしか生きないならば、寛容と共感と正義は決して実践されることもなければ、広がりも見せることもない。」これはホロコーストを家族でたったふたり生きのびた姉が、安全なイスラエルへと誘った妹に言った言葉です。卒業していく皆さんが人間としての誇りを失わず、つねに他者への想像力をもって、日々を丁寧に生きてゆかれましますように。羞恥心とユーモアの精神を手放すことありませんように。

### さあこれからです！



国文学科教授  
藤本 勝義

就職、進学など進路はまちまちだけど、皆さんの若さは、いろいろな可能性に満ちています。これからは新しい人間関係、社会生活、勉強など、毎日を大切に突き進んでください。ただし、時々母校に足を運んでみては。仕事の途中などに立地の良い青山キャンパスを歩いてみよう。忘れていた大事なことを思い出すよ。一つだけ気をつけてください。何年もたって、いきなり頼みごとをしてくる卒業生が結構います。大人としてのエチケットが身につけていないのは、どこかで必ず軽んじられるよ。

### 卒業生へのメッセージ



教養学科助教授  
西願 広望

俺は全力投球で教育をしている。だから言い残したことはない。常日頃、俺が授業中に言ったこと、それが全てである。あえて卒業だからといって付け加えることもない。でも本当にこれだけだとクーリエの編集部が困りそう。ならば最後に…。

「ババンババンバン。風呂はいったか。ババンババンバン。歯みがいたか。ババンババンバン。聖書よんだか。じゃ、さようなら！」（え？ドリフ、知らないの？教養ないなあ。）

### 卒業を祝いつつ



英文学科助教授  
松村 伸一

毎年卒業式、入学式と壇上から学生の姿を眺める。新入生が子供っぽく感じられることから逆算して、卒業した学生は短期間でずいぶん成長したものだ実感する。自分では成長を実感しにくいものなので、はた目の感想を述べておく。さて、私が授業その他を通じて皆さんに言いたいことがあったとすれば、「本を読み、映画と絵を観よ、自分の頭で考えよ」、この三つだ。お祝いの言葉に代えて、最後にもう一度しつこくくり返したい。

### 卒業生に贈る言葉



芸術学科教授  
大野 芳材

人がしゃがんで木を植える形から、「芸」という字は作られました。とすれば芸術は、木を植えて育てることを学ぶという意味を根本に持っているのです。自然に向き合いその生命と不思議に触れることから人間の知恵が生まれてきたことを考えると、芸術は精神の最も大切な営みの謂いとも言えます。皆さんは理論とともに、制作という手作業を通してそのことを実感されたはずで、そのかけがえのない経験を、卒業後もいっそう強く深く発展させられることを期待しています。

### 安全性と安心性



家政学科教授  
石井 孝彦

「食品の価値を決めるものは、まず栄養価と安全性であり、次に嗜好性、経済性、便宜性などの調和がとれていること」と講義で話したことがある。しかし、最近では、安全性以上に「安心性」を考えなくてはならないようである。「安心性の定量化」「安全性を安心性へどう近づけるか」は研究者の課題であるが、当分、個人個人が判断しなくてはならない。食品・栄養情報に気をつけて、健康にお過ごしください。ご卒業おめでとうございます。

### 新しい出発



宣教師・一般教育科目教授  
ロバート・タヒュン

アメリカの多くの大学では卒業式を「Commencement」と言います。それは「始まる」、または「出発」という意味です。つまり、卒業は一つの区切りと同時に新しい出発点でもあります。短期大学で学んだことは将来を切り開く材料と力となり、また支えとなるでしょうし、そのように祈っています。聖書の言葉を皆さんに贈ります。

「あなたがたの中で良い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、私は確信しています。」（フィリピ1: 6）



青山祭（中庭ステージにて）



青山祭（茶道部）



児童教育学科「大発表会」

Congratulations upon your graduation



英文学科助教授  
Joseph Phillips

Congratulations upon your graduation! All your hard work over the years has paid off, and you can be truly proud of this achievement. People used to believe that with graduation, education came to an end - that the pursuit of knowledge was something left behind along with textbooks upon receipt of a diploma. Today it has become fashionable to talk about lifetime education, and this concept makes a lot of sense. The pace of change in today's world is rapid, and this is a trend that is unlikely to disappear. To succeed in today's world, one must adapt to and even embrace change; to do this, one must continually keep abreast of trends and forces and shape them for the benefit of all. We are fortunate in that the rapid changes that challenge us also provide us with the tools for self-education. The spread of information technology means that a library is at our fingertips virtually anywhere. It is my hope that your time at Aoyama has provided you with the confidence, ability and will to set out on this new adventure.



兼任講師 (家政学科)  
吉良 謙

ゼミで得た知見から、自分で考えたものの見方は、初めは素朴なものであるかもしれませんが、長年使い続け、PLAN→DO→CHECK のサークルを回していると、もの見方や問題解決が正鵠を射るようになります。学校での勉強は卒業で終えるのでなく、社会に出てからが本番になります。自分なりの物指は使い込むほど精度が上がります、使い勝手が良くなります。十年二十年の持続はそれがあなたのキャリアや個性に繋がります。GOOD LUCK!

生臭い現実を見る眼を



兼任講師 (児童教育学科)  
前田 小三郎

私はリハビリテーションの実践現場に視点を据えて、幼児教育との関連で講義をしてきました。温室育ちの多い学生に、現実の生臭い生活の中で障害を背負った人たちの苦悩に共感できるよう配慮してきたつもりです。みなさんは卒業してあらためて様々な“想定外”の体験に直面していくことになるわけですが、目の前の一人の児童の背後にある生臭いモノをしっかりと見つめる眼を自己育成して、子どもに慕われる保育者になってください。卒業おめでとうございます。私も今年青短を巣立ちします。

卒業生の皆さんへ



事務部長  
天野 宏

卒業生並びに修了生の皆さんおめでとうございます。青山学院女子短期大学での皆さんの2年又は3年間の学生生活はいかがでしたか、それぞれ豊かな学生生活を送られたのではないのでしょうか。この間に支援し支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れないでいただきたいと思います。皆さんは今後新たな目標に向かって進まれるわけですが、本学で得た様々な経験や知識を活かして自分自身を更に向上させていってください。皆さんの今後のご活躍とご健勝を心から祈りたいと思います。



同窓会会長  
諸山 啓子

ご卒業・修了おめでとうございます。どのような2年(あるいは3年)を過ごされましたか? 多分アツという間に過ぎ、楽しかったこと、辛かったこと等が走馬灯のように浮かんでいることでしょう。学生生活は、土を耕し、肥料を加え栄養を蓄えて丈夫な芽が出るような土壌を作る大切な時だったのだと思います。これからも努力を惜しまず、素敵な女性に成長していきましょう。同じ学舎に学んだ先輩方も応援しています。



シオン寮寮監  
藤平 あい子

御卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。ところで短大生活は如何でしたか? きっと沢山のことを学んだことでしょう。学問・知識・教養・経験等すべてがこれからの人生の糧となることと思います。それらを生かして各々の可能性を引き出し一歩一歩歩んでください。夢を、思いやりを、責任を持ち、社会に、世界に羽ばたいていかれますように。皆様のご健闘・ご活躍をお祈り申し上げます。

はじめの一歩



学生課職員  
澤井 利恵子

「人の幸・不幸の数は最後には同じになる。」世間が「勝ち組」「負け組」と騒がしいから、祖母が教えてくれた言葉を贈ります。人生80年の時代、良いことも悪いこともあって当たり前。あなたの道をゆくのは、あなたです。「負け」とめげず「勝ち」に奢らず、自分の足でしっかり歩いていってください。まずはそれぞれの進路へ向け、踏み出しましょう。は・じ・め・の・一・歩!



児童教育学科副手  
入江 香奈子

2005年12月、卒業を3か月後に控えた皆さんは、まだ、いろいろなことを抱え不安げにみえた。その後、学科行事や卒業論文・卒業制作などに懸命に取り組んでいながら、様子は変わった。皆さんが表現したものは、はかりしれない力があり、心が揺さぶられた。卒業する皆さんへ励ましの言葉を贈ったらよいのか。いまだあれこれ伝えたいことがまとまらないまま。結局、いつも、多くのことを皆さんから与えられ、学んでいるのは私の方です。

卒業生へ贈る言葉



学生会会長  
三幣 夕紀

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。青山学院女子短期大学での2年間という限られた学生生活の中で、多くの事を学び、出会いや様々な経験を積まれた事と思います。それら一つ一つが皆様にとって、かけがえのないものとなっていることでしょう。また、1年間ではありましたが、先輩方には様々な面でお世話になり、力になっていただきました。

4月からは多くの方が社会に出られると思いますが、学生生活で培った知識や経験を存分に生かし、頑張ってください。



児童教育学科「大発表会」



クリスマス礼拝



クリスマス礼拝

CAMPUS REPORT CAMPUS REPORT CAMPUS REPORT CAMPUS REPORT  
 キャンパスレポート  
 CAMPUS REPORT CAMPUS REPORT CAMPUS REPORT CAMPUS REPORT

## 2005年度特別奨学金奨学生

特別奨学金は、経済的支援を目的とする奨学金に対し、広く学術文化スポーツ等における活動を奨励することを目的とした奨学金です。

特別奨学金奨学生は、現在、応募と推薦の2つの方法で採用しています。2005年度の実績による採用は、前期の英文学科岡本千恵さん（BANGLADESH Study Tour参加、本誌NO.135参照）1名でした。後期の応募者はなく、推薦により、個人1名、3団体が採用されました。個人は、東京都私立短期大学協会主催英語スピーチコンテストで3位になった英文学科の安藤礼子さん、団



特別奨学金授与式（後期）

## 英文学科スピーチコンテスト

毎年英文学科では、授業の一環として学内スピーチコンテストが行われています。今年度（2005年11月27日開催）も各スピーカーによりレベルの高い弁論が戦わされました。「グローバル化社会」「人間らしさの回復」など、テーマも時代を敏感に反映します。優勝者はE1Bの駒崎尚子さん、「過去を想起すること/修正すること」と題して歴史



駒崎尚子さん

観を共有する困難さと重要さを4分弱の時間で明晰に語りました。また今年度から「特別審査員賞」が設けられ、身近な家族の大切さを訴えたE1Fの立花麻衣さんが受賞しました。

（英文学科 山田 美穂子）

体では、全国私立短期大学体育大会 B2ブロック準優勝のバレーボール部、東京都私立短期大学体育大会優勝のバスケットボール部、東京都私立短期大学体育大会準優勝のバドミントン部が選ばれました。

以上のように、本年度は体連系クラブの活躍が目立ちましたが、来年度は、より広い分野で活躍した団体・個人が奨学生として選ばれるよう期待しております。  
 （学生課）

## 第8回 書道コンテスト優勝者作品

国文学科2年 牧野早苗さん



牧野さんとその作品

「不動心」と読みます。不と心をおちつけたぶん、動に動きをつけてみました。おもしろみのある作品をつくりたかったです。  
 （2005年9月作成）

## 開学 55 周年記念式典

2005年11月12日（土）に開学55周年記念式典が行なわれました。

5年前の50周年記念式典は学生も参加して盛大に行なわれましたが、5年ごとの式典の特色は、本学のために尽くされた逝去教職員を偲び追悼記念礼拝を行うことです。ご遺族の方々、退職された教職員そして現職の教職員が一同に介して、礼拝に出席して故人を偲びます。礼拝後は茶話会でご遺族を中心に故人の思い出話をしたり、ある時期に職場をともにした新旧教職員が親交を深めたりします。

このようにして和やかなうちに式典を終了することができました。

（寺村 眞佐子）



追悼記念礼拝にて  
 説教するタヒューン宣教師

## \*授業風景より\*



● クーリエ歌壇 ●

教え子たちの短歌——今年度の作品から

国文学科教授 高野 公彦 選

(注) ①～⑥は私の「創作短歌」という授業での作品、また⑦～⑫は短歌大賞の入選作である。

① 星空がきれいと感じ始めたのは、手に入らないと分かってからよ

家政1年 石黒 めぐみ

手に入らないものほど、強く憧れる。星空もそうだし、恋人なんかもそうであろう。人は「手に入らない」ものを心に秘めながら生きてゆく。

② ダムダムチャン、ダムダムダダダ、ドタツツチャン 君のドラムと笑顔が好きです

国文1年 村田 一美

彼がドラムを叩いている。笑みを浮かべながら楽しく叩いている。それをうっとり眺めているのだから。オノマトペ(擬音語)が独創的。

③ ぼんぼんと小学生が駆けてゆく犬ばしりにも銀杏の葉落つ

英文1年 伊佐 ナナエ

目にした風景をいきいきと描き出した作品。言葉づかいがまことに巧みである。犬走りは、堀と溝とのあいだの狭い空き地のこと。

④ さようならサヨナラサヨナラサヨウナラ 言うつから消えて君とかせんぶ

家政1年 萩原 由希

うまくいかなかった恋。それを忘れようとして心の中でサヨナラを絶叫しているような歌である。切ない気持があふれている。

⑤ 人形抱く娘 六花降る夜に 好き嫌いマロンケーキと スイートポテト

国文1年 緑川 寛子

五七五七七のそれぞれの頭に「く・り・す・ま・す」という語を詠みこんだ作。折句という遊びである。全体にクリスマススの雰囲気が出ている。

⑥ こっそりと缶のしずくをハンカチでぬぐつて君に手渡した夏

国文2年 橋本 郁美

缶ジュースか何かを手渡すとき、しずくを拭いてから渡した。そうすることで彼に対する思いをあらわしたのである。ひめやかな恋の歌。

⑦ 色赤き夕日さしこむ教室に開けつばなしのグランドピアノ

国文2年 藤原 由香莉

夕方、誰もいない教室に、ふたを開けたままグランドピアノが置かれている。人のいた気配と、人の去ったあとの静寂をみごとに描き出した作。

⑧ 命日の花買う六月十九日茎持つわが手に冷たさ染み入る

国文1年 秋葉 にしき

故人に供える花を買った。たぶん菊であろうが、その茎を持つと冷たさが手にしみてくる。ふと、ひんやりした死の世界を感じたのだから。

⑨ 「フイーンフイーン」隙間風かと思つたら宇多田を歌う我の父なり

国文専攻 山口 多恵子

あまり唄のうまいくない父だが、宇多田ヒカルが好き。フイーンフイーンとか、隙間風という言葉で、うたう父の様子をユーモラスに描いている。

⑩ 紅花の畑のやうな空を見て身を投げたといふ「恋人岬」

国文2年 田村 愛実

作者は、紅花の畑のように真っ赤な夕空を見ながら岬から身投げした人を持っている。作者もまた悲しい恋心を抱いているのかもしれない。

⑪ かじかむ手「迎えに来て」とメール打つ次の電車は十七分後

国文2年 石村 知子

寒くて心細いので駅からメールを打った。相手は家族か友達か恋人か、それはよく分からないが、「十七分後」というのがリアルでいい。

⑫ 「こつちや来い」言いてさしだすしわしわの祖母の手握りめぐるかまくら

国文2年 和賀 好美

幼いころの思い出を歌っているのだから。祖母がしわしわの手で作者の手を握り、連れて歩いてくれたのである。素朴な祖母の言葉が優しい。

\* \* \* \* \*

⑬ 大宇宙ただよう美果に人びとの棲みてごミ処理場の煙突

高野 公彦

美果は、美しい果物、の意。宇宙に浮かぶ地球の姿をこう言ってみた。人類が地球に住みついて地球を汚している、という思いから生まれた作。



**1 卒業式・卒業礼拝の案内**

◎2005年度卒業礼拝  
3月22日(水)午後1時30分(青学講堂)  
◎2005年度卒業式・修了式  
3月23日(木)午前10時(青学講堂)  
※ご父母の皆様には別途ご案内申し上げます。

**2 卒業後の再入学・留学希望者への案内**

【再入学試験】本学を卒業後、又は退学後に再度入学を希望する場合の制度として「再入学試験」があります。1.本学を卒業した者は、在籍していた学科以外の学科に出願することが出来ます。例えば、国文学科卒業後英文学科に入学を希望する場合などをいいます。2.本学を一身上の都合、又は病気などにより退学した者は、在籍していた学科に出願することが出来ます。1年次終了で退学した場合は、2年次の4月から再入学することになります。詳細は6月中旬に発行される「青山学院女子短期大学募集要項」をご覧ください。  
【留学】卒業後に本学姉妹校(米国)へ留学を希望する方の相談に応じています。詳しくは教務課までお問い合わせください。

**3 科目等履修生の案内**

科目等履修生制度とは、卒業後に一般の学生と一緒に授業に出席し、幅広く本学で開講している科目を学ぶことができる制度です(ただし、受講できない科目もあります)。本学の科目等履修生には、レポート提出や試験を受けることにより、単位が認定される科目等履修生Aと、授業を受講するだけで単位は認定されない科目等履修生Bがあります。出願手続は3月中旬になります。詳細は2月中旬に教務課までお問い合わせください。

**4 卒業後の教会案内**

短大宗教活動センターでは、在校生・卒業生の方に教会紹介をしています。またキリスト教上のご相談に宗教主任が応じています。「近くの教会へ行ってみたい」「青山学院にゆかりのある教会を探している」などの希望がございましたら、下記までお問い合わせください。  
TEL : 03-3409-7120

**5 卒業後の就職希望者への案内**

雇用を取り巻く状況が厳しい昨今、安易な転職や進路決定の先延ばしはお勧めできませんが、就職が決まらずに卒業をされた方、就職後に再度就職活動を希望される方には、既卒者募集求人があり次第、ご希望に応じて紹介しています。卒業後に就職を希望される方は、就職係(TEL.03-3409-7097)までご相談ください。  
2005年度求人・利用状況(1月31日現在)  
登録者数 45名  
(2004年度未決定者31名 既卒者14名)  
求人件数 116件 内定報告者 16名

**6 卒業後の図書館の利用について**

卒業生の方も短期大学図書館を利用することができます。閲覧カウンターで「利用者カード」の発行をいたします。住所と身分が確認できる運転免許証、パスポートなどの他、写真1枚(縦2.5×横2cm)をお持ちください。貸出は5冊2週間、延長は期限内であれば2週間、予約がない限り何回でもできます。  
利用時間 月～金(8時30分～19時)  
土(9時～13時)  
開館日、開館時間が変更になる期間がありますので、ホームページをご覧ください。  
<http://www.agulin.aoyama.ac.jp>

**7 在学中に奨学生だった方へ(奨学金の返還について)**

奨学金は先輩からの返還金を後輩の奨学金として貸与する仕組みとなっていますので、約束どおり必ず返還してください。返還金の引き落とし口座の変更や、住所、電話番号、氏名、勤務先、連帯保証人、保証人等に変更があった場合はただちに「返還のてびき」の指示に従い手続きをしてください。その場合奨学生番号が必要となりますので、関係書類は大切に保管してください。進学・留年等で返還猶予を希望する場合は4月以降忘れずに手続きをしてください。

**8 卒業後の証明書の発行について**

卒業証明書や成績証明書の申込方法は、窓口申込(事務室に入室しての申込)、郵送申込(手紙での申込)のどちらかになります。証明書は和文・英文ともに、窓口申込の場合即日発行、郵送申込の場合、手紙が教務課に届いた翌日に発送します。教職関係で証明書が必要な場合は、免許の種類などを確認する必要がありますので、教務課までお問い合わせください(窓口申込、郵送申込共に3日後の発行となります)。詳細は短大のホームページを参照、あるいは教務課までお問い合わせください。  
TEL : 03-3409-7045

**9 卒業後の住所変更**

卒業後の住所変更は同窓会にお知らせください。  
青山学院女子短期大学同窓会  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
青山学院ウェスレーホール3F 短大同窓会宛  
TEL.03-3499-3149  
FAX.03-3498-2914

**10 新2年生・専攻科生への新年度案内**

◎2006年度2年生書類配付・履修指導  
4月3日(月)午前9時30分  
◎2006年度新入生・専攻科生学生証・書類配布  
4月4日(火)午前10時～11時30分  
◎2006年度入学式(新入生・専攻科生)  
4月4日(火)午後1時(青学講堂)

**編集後記**

2月にオープンした表参道ヒルズは、櫻並木との調和や景観への配慮から低層にしたとのこと。青山通りの美化を目的とした「街並み協定書」も作成された。この街の好感度が高いのはこんな努力もあるからだろう。学生生活調査でも「この大学にきて良かったこと」を聞くと、「友人との出会い」に並んで「立地の良さ」が毎年上位となる。「都心でありながら緑が多い」など、キャンパスの魅力をあげる答えも目立つ。特に正門から間島記念館を臨む銀杏並木は、多くの校友にとって原風景ともいえるものだろう。卒業生が10年後、20年後に母校を訪れた時、ここで学んだことを誇りに思えるよう、守るべきものを守りながら進化する大学でありたいと願っている。(田口恵子)

編集委員 奥井正司 奥村健一 志賀智江  
田口恵子 寺村眞佐子 宮内華代子  
山井准子